

二宮尊徳没後150年記念

御仕法関係資料



相馬市
相馬市教育委員会

資料作成にあたって

小学校の教科書にも登場する「二宮尊徳」の名前はあまりにも有名です。しかしながら、有名すぎる裏返しからか、遠い昔の偉人のように思われがちですが、尊徳が活躍したのは今から150～160年前、江戸時代末期の頃のことです。決して古い話ではありません。

当市が報徳仕法（御仕法）を導入したことは知られていても、これより先の詳細までとなると意外と知られていないようです。ましてや、二宮家と当市との関係を知る人は残念ながら少ないのではないのでしょうか。

二宮尊徳が亡くなったのは、安政3年10月20日（新暦1856年11月17日）。今からちょうど150年前になります。節目の年にあたる今、当市にも大変ゆかりの深い二宮尊徳先生や御仕法について再確認する次第です。

平成18年10月20日

相馬市・相馬市教育委員会

目 次

二宮尊徳とは	3
報徳仕法とは①	4
報徳仕法とは②	5
御仕法に尽力した相馬の人々	6
御仕法の成果	7
なぜ御仕法が成功したか？	8
相馬市と二宮家の関係	9
報徳訓（読み下し文）	10
『報徳訓』を現代のことばに直すと	11
年 表	12
御仕法ゆかりの地案内（相馬市）	19
写 真（No.1～31）	20
記録（二宮尊徳 150 回遠忌墓前祭）	28
参考図書	29